

重誓寺報

第46号 令和2年6月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) 重誓寺
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号
電話・FAX 06(6951)0090

この度の新型コロナウイルスは世界中のあらゆることに影響を与えました。まだまだ油断を許さない状況ではあります。

親鸞聖人の時代にも災害や飢饉が多く発生しました。その時、聖人は住民の苦悩を目の当たりにし、何とかできないかと「三部経を千回読誦」することを決意されます。しかし数日後、「自ら信じ、人に教えて信じさせることが本当の仏恩報謝だと信じているのに、名号を称えるほかに、何の不足でお経を読もうとするのだろうか」と反省し中止されたということです。浄土真宗は、加持・祈祷をしない宗教なのです。

もちろん私たちは平和で健康に暮らして行きたいと思えますし、そう努力することも必要です。しかし生きていけば、色々なことが起こります。良いこともあれば悪いこともあります。それは全て与えられたご縁であり、与えられた事実は受け止めるなければなりません。そんな中でいかに過ごして行けるか、今試されているのではないのでしょうか。



法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

常例法座

六月二十日(土) 午後二時

講師 豊中源福寺 平戸昭乗師

七月二十日(月) 午後二時

講師 羽曳野明教寺 不死川浄師

秋季永代経法要

九月二十日(日) 午後二時、七時

二十一日(月) 午後二時

講師 東淀川萬福寺 寺本正尚師

以降は追ってお知らせします。



新しい生活様式

が求められています。

普段生活していると、たまに人に会うことが煩わしくなる事もありますが、この度、「会ってはいけない」「出かけてはいけない」と言われることが、こんなにも息苦しいことだったんだと実感致しました。

これはイラストレーターのタナカサダユキさんという方の絵だそうです。

皆、一人では生きて行けません。いくら生活様式が変わろうと、人と人とのつながりは大切にして行かなければなりません。

親鸞聖人 和讃の教え

たとひ大千世界に

みたらん火をもすぎゆきて

仏の御名をきくひとは

ながく不退にかなふなり

(浄土和讃 三一)

たとえ世界中が火の海になったとしても、ひるまず進み、阿弥陀仏の名号を聞き信じる人は、決して迷いの世界にもどることのない身となるのである。

この度のコロナ禍によってほとんどの方に何らかの影響がありました。三密を避けるため芸能関係、音楽関係の方々にも軒並み行事が中止された事により、全く仕事が無い状態となつていようです。そんな中、何とか伝えて行こうと、インターネット

トを利用した映像を発信された方も多くありました。

お寺でも、最も重要な法座を中止されたところが多くあり、布教師の方々やユーチューブ等でお説教を多く載せられています。

蓮如上人は「仏法は聴聞にきわまる」と言われました。煩惱に振り回されている私のこそが、阿弥陀如来さまの救いの本当のお目当てであった、私のいる場所はまさにお慈悲の中にあつた、そのように聞かせていただくのが「お聴聞」なのです。

昔の方は遠くまで、まさに命がけで聴聞の場を求めて行かれました。

しかし今では様々な方法で身近にそれを叶える事が出来るようになりました。是非色んな方法で仏法に触れて頂きたいと思います。



坊 守 日 記

自粛生活が続く中、息子の学校もインターネットを使ったりリモート授業が導入されました。

とは言え、先生も生徒も初めての事。うまく繋がらなかったり、画像が見えにくかったりと試行錯誤が続いているようです。

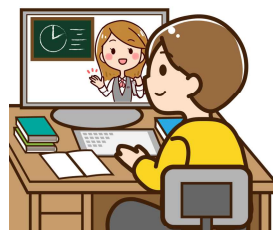
その日、息子は2階の自室で先生と個人面談中でした。そんな事知らない1階にいる娘は、いたずらした犬に「SIT! STAY!」「こらーっ!! そんな事したらアカンやろー!!」と美声で言い聞かせ中。そう、ドアが閉まっても同じ家の中。大声は画面の向こうに居る先生にもしっかり届いているのです。

先生「お母さん、何か叫んでるでー」

息子「はいー、犬が暴れてるみたいで・・・
(笑)」

いやいや息子よ、そこはちゃんと母ではなく姉だと訂正してー！

家族も早く新しい生活様式に慣れないと・・・



感染

を避けるた

め、色んな事に影響が
出ました。テレビ番組
の収録も出来なくな
り、以前のドラマやバ
ラエティー番組などが
再放送されていきます。
人気のあったものが選
ばれますし、既に見て
内容を知っているもの
もあるのですが、つい
また見てしまえます。
新しいものにドキド
キするのにも良いです
が、何度も繰り返し返して
聞くことも大切なこと
です。
仏法聴聞とはそうい
うことです。

お参りの変更や相談など、ちょっとした連絡を
メールでもお聞きします。お気軽にお問い合わせ下さい。
ただし急ぐ場合や返事が無い時は必ず電話でお願いします。

重誓寺 E-mail juseiji@gmail.com(携帯)

TEL 06(6951)0090